

## 閉会挨拶

### 全国エリアマネジメントネットワーク会長 小林 重敬 氏

ご紹介いただきました、小林です。広島でこのようなシンポジウムを持つことができ大変嬉しく思っています。

当初、広島でやると言うことについてはいろいろな方から危惧がございました。そもそもエリマネ組織なんてないじゃないかとかいう話もございました。私実は数年前から広島にいろんな機会があって訪れておりました。その時に、今日出た紙屋町、それから駅周辺。エリマネ組織がこれからできる可能性があるという話を行政の方から聞きました。今回、広島でエリマネに近い活動をしっかりやっていると見たいとお話したところ、裏袋に行けっていわれました。裏袋ってどこなのって聞いたら、今日登場された方のご説明の通りの街で、昨日の夜と今朝2回裏袋を通ってきました。飲み屋の隣にポールスミスの店があって不思議な街で、これが広島流の街の作り方かな、という感じが強くいたしました。なぜ裏袋がエリマネ組織でないのか不思議な位いろいろなことが裏袋でやられていると思います。

今日広島市役所の方がたくさん来ていると言うことをベースに、1つだけお話ししたいことがあります。それは、不公平をやりなさいということです。エリアに対してこのエリアはこういう形で時間をかけて皆さんが活動しているところに対しては不公平でもいいからそこに市の力を注ぎなさいということです。それをやらないと今後市がもたないですよということです。実はこの不公平の議論は、横浜で横浜駅の大改造計画を立て、駅を改造していますが、私はまとめ役を務めていますが、当初、議会から相当横槍が入りまして。今時ハード整備をして横浜駅を大きくしても、何の意味があるんだということです。それよりも子育て問題、高齢化問題などその他大変なことがこれからあるのだから、そちらに金を向けるべきであって、という話がございました。私はそうではないのですお話ししました。10年20年かけて市がこれからしっかりお金を投じて、稼げるエリアに金を投じなさい。おそらく広島市もそういうことには気づいておられて、広島駅、紙屋町等中心部に行政としてエリマネ組織を立ち上げているのだと思います。そこでぜひお願いしたいのは不公平でもいいからそこにしっかり行政のお金を投じなさい。それが10年20年かけて実を結びゆくだらう、それは税金を使うのではなくて、税金を投資するんだということです。他のところは税金を投じることは、税金を使うんですよ。他のエリアだと税金を使うことになるんですけど、その2つの地域はおそらく、広島に置いて税金を投資する場所になる。それが長い目で見ると広島のこれからにおそらくつながるだらうと。それを皆で息長くやっていきましょう、と言う会が今日ではなかったかと言うように思っておりまして、それをまとめとしてお話しして、最後にさせていただきます。どうもありがとうございました。